

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	非常時用池整備及び文化伝承事業
事業主体 (連絡先)	狐池区 長野市狐池 1292-2
事業区分	安全・安心な地域づくり 教育、文化振興
事業タイプ	ハード
総事業費	1,242,000円 (うち支援金: 828,000円)

事業内容

この地区には、昔から井戸、池が多く存在しており昭和30年代迄は飲用、生活用水として利用してきた。近年衛生上の観点から利用なくなり、それに伴い池には土砂が堆積された。日本各地での災害を見る中で、ライフラインの一つである水の確保が必要との事から、池の整備を実施した。6月、10月の2度に渡る区の防災避難阿訓練に於いて、整備された池の水を一時避難所にある、水洗トイレに活用した。

6月26日(日)参加者65名

10月23日(日)参加者78名

来年度以降、池に伝わる文化伝承を近隣、及び学校へも広げて行く。



【地区防災訓練で池を確認する住民】

【目標・ねらい】

- ① 災害時の水の確保、利用
- ② 池に纏わる文化の確認

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 災害時に於ける、問題点の一つとしてトイレの不利用は住民も改めて問題意識を持ち、水確保の意義を感じて頂いた。
- ② 狐池の由来とも言われている、諏訪社について、善光寺七池の一つである事に認識を区民が持って頂き、第一地区以外にも文化伝承に広める事が出来た。

※自己評価【 A 】

【理由】

- ・区民の池活用理由の認識が防災の意識を高められた。
- ・第一区の名所地図、並びに学校への白図提供が実現できた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

2回/年の防災訓練は毎年の繰り返しで、災害時に効率的に活用出来る様に訓練する。池の湧水を日頃から、高齢者と世代間交流の一つとして利用出来る様に、再度飲用適合になるのかを確認し、適合で有れば野点の開催に結び付けたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある